

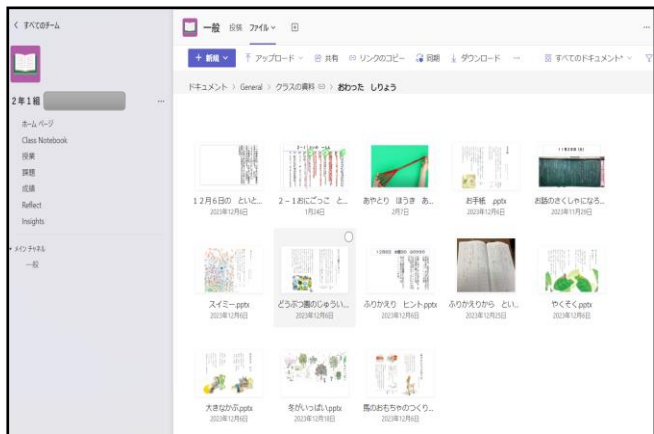
# リーディングDXスクール事業【実践事例】

鹿児島市立田上小学校（鹿児島県）

【取組内容⑤】「その他」 単元内一部自由進度学習の考えを取り入れた、国語科「書くこと」における2年生と6年生の取組

2年生 国語科「書くこと」

## 参考作品の共有と作品の推敲



「スイミー」の1の場面を基にして、書くとどんな場所で、どんな人物が出てくるのか読む人に伝わりやすくなりそうだな。

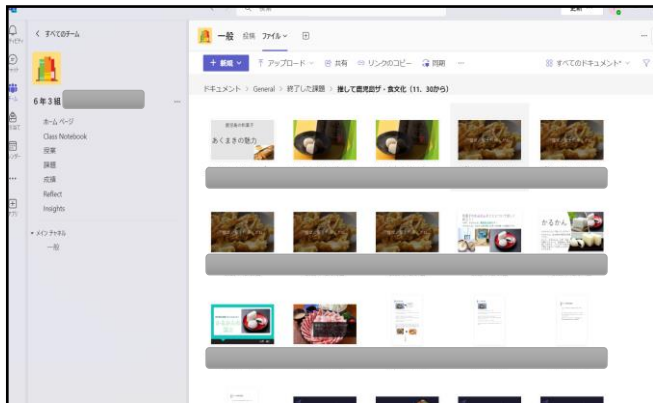
Microsoft Teamsに入っている、「スイミー」の文章を見ながら、試しに書いた「はじめ」の部分を書き直してみよう。

子供がこれまでに学習した物語文を想起し、共有できるようにすることで、子供が自分の問いに応じた参考作品を探し、自分が書く物語に生かすことができるようにする。これまで学習した物語文をMicrosoft Teamsで、いつでも誰でも閲覧できるようにすることで、共通する課題の友達と一緒に課題解決したり、つまづいている子供が友達からヒントを得たりするなど協働的に学ぶ姿が見られた。

集材・記述・推敲において、単元内一部自由進度学習の考えを取り入れて単元学習を進めた。

6年生 国語科「書くこと」

## 他者参照と自分の作品の推敲



プレゼンの構成に悩んでいるよ。3枚目のスライドは、この順序でいいかな。



〇〇さんのプレゼンの構成がよいなと思ったよ。Microsoft Teamsで確認してみようよ。

子供が自分の問いの解決に沿った他者参照をすることで、自分のプレゼン資料の作成に生かすことができるようにする。学級全員の作品をMicrosoft Teamsで、共有できるようにすることで、家庭学習でも自分で調べたり推敲したりするなど主体的に学ぶ姿が見られた。